



海老沼小だより

～ かしこく やさしく たくましく生き抜く子
笑顔と歌声あふれる学校 ～

平成30年1月9日

1月号

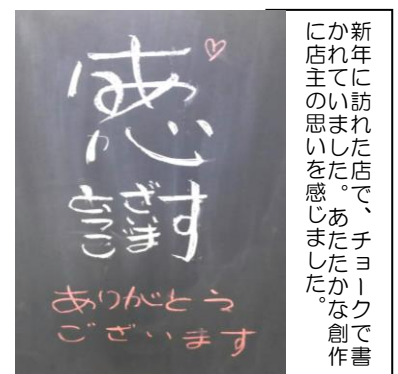
さいたま市立海老沼小学校

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

校長 森 裕 子

年が明け、今日から3学期が始まりました。一番冷え込みが厳しい季節ですが、子ども達は元気な笑顔で登校してきました。今朝は、「おはようございます」ではなく「おめでとうございます」の挨拶です。「校長先生、今年もどうぞよろしく願いいたします。」丁寧に頭を下げてそこまで言ってくれる子もいて、「わあ、素晴らしいね、しっかりと挨拶できて！」と賞賛すると、周りの子どももすぐに気づいて次々に同じようにします。いつもながら、礼儀正しくて素直で、前向きな海老沼の子ども達に思わず笑みがこぼれます。2学期の終業式で、「今日は、先生やお友だちとさよならをするときに、ぜひ『よいお年を』という挨拶をしてみてください。」と話しました。行く年の思い出を振り返りながら、来る年の楽しいことや嬉しいことに期待を膨らませ、「今年一年お世話になってありがとう」「来年もよろしくね」という相手への思いを込めて交わす、この美しい挨拶をぜひ、知ってほしいと思ったからです。すると、帰り際の教室や廊下、昇降口では、1年生から6年生、そして先生方も、みんなでの挨拶を交わしていました。私も子ども達を正門で見送りながら、「よいお年を！」と声を掛けました。子ども達は、実に自然体で挨拶を返し、これから始まる楽しい冬休みを心の底から楽しみにしているのでしょうか、いつもに増していい顔をして帰っていきました。外気は冷たかったですが、心の中はホカホカで、最後に門を閉めるときは海老沼の黄色い校舎に向かって「よいお年を」と言いました。来る年への思いを馳せながら。

本校においては、こんなにもいい年の暮れ方をしていた頃、世間では信じられないような悲惨な事件が明るみに出ました。大阪で15年以上も監禁状態だった33歳の女性が、たった2畳のコンテナのような空間で食事もなく与えられず、凍死していたというのです。報道では、ご本人の小学校の頃の写真が何度も出ました。それを見るにつけ、胸がつぶれるほどの悲しみを感しました。なぜ、救えなかったのか。小学校6年の後半から学校へ行ってなかったとのこと、卒業を間近に控え、学校はどう対応していたのか。また、中学は・・・？子ども達が犠牲となる悲惨な事件が起きるたび、何か解決方法はなかったのかと悔しい気持ちがぬぐえません。さいたま市教育委員会で示している「児童生徒こころのサポート手引き」では、児童生徒の欠席が続いた場合、学校は必ず本人とコンタクトをとることとしています。それには、電話や家庭訪問などにより確認させていただくこととなります。子ども達の安全が万が一にも脅かされることのないように、学校、家庭、地域、そして行政が連携協力して、組織的に対応をしていくことが大切です。ご家庭や地域におかれましては、気になること、お困りのことがありましたら、遠慮なく学校へ連絡を頂きたいお願い申し上げます。今回このような事件が起きたことで、学校としても解決の糸口を見逃すことのないようにしなければ、と改めて肝に銘じた次第です。



さて1月は、陰暦で「睦月（むつき）」と言います。「睦」の字は、仲睦まじい、と使うように多くの人と交流し、楽しく過ごす様子を表す漢字です。新しい年を迎えるこの時季は、誰もが笑顔で希望に満ち溢れ、いつも以上に多くの人と触れ合う喜びを感じたり、ちょっぴり贅沢な気分を味わったりします。今朝の子ども達は、とても晴れやかな表情で満ち足りた様子でした。そして今、新しい年に向け、それぞれの夢や希望を抱いていることでしょう。どうぞ、子ども達が安全安心のうちに、前へ進んでいくことに、ご家庭、地域の皆様のお力添えをお願いいたします。海老沼小教職員一同も、年頭にあたり改めて、子ども達にたっぷりの愛情を注ぎながら教育活動に邁進し、さらなる飛躍がとげられるよう力を尽くす所存であります。

本年も、海老沼小の子ども達のたくさんの笑顔のために、何卒、よろしく願い申し上げます。